



目次

□ 相互利用サービスを活用しましょう～早稲田大学と相互利用協定を締結	▶ 1
□ 今出川図書館の施設を大幅に改善しました	▶ 2
□ EBSCOhostが利用できます	▶ 3
□ Web版DOORSで女子大学所蔵資料が検索できます	▶ 3
□ 「宝の山」 閉架書庫を利用しましょう～秋学期も20回の入庫説明会を開催	▶ 3
□ 学術情報ネットワークシステム利用および運用上のガイドラインが制定されました	▶ 4
□ Linux教室を開室します	▶ 4
□ お知らせ	▶ 5
□ 所蔵資料紹介	▶ 6
□ 総合情報センター利用時間	▶ 8

相互利用サービスを活用しましょう ～早稲田大学と相互利用協定を締結

相互利用サービスって何？

同志社大学は、約200万冊の図書や約3万タイトルの逐次刊行物を所蔵しています。しかし、毎年、膨大に刊行される学術資料をひとつの大学でまかなうのは不可能な状態です。

論文・レポート作成時に、図書、雑誌記事やデータベースで調べた参考文献の利用を、DOORSで検索した本学所蔵資料だけに限定していませんか？

京都には、京都大学や立命館大学を始め多くの大学が所在します。レファレンスカウンターでは、利用者の皆さんが、近隣大学の図書館資料を閲覧したり、遠方であれば、所蔵資料のコピー取寄せや図書の借入を受けるなど文献利用のお手伝いをしています。これらのサービスを総称して図書館間の相互利用サービスと呼びます。

ぜひ、相互利用サービスをおおいに活用してください。昨年の相互利用数は次のとおりです。

	閲覧	複写	貸借
他大学へ依頼	1,356人	2,670件	233冊
他大学へ提供	1,032人	4,006件	743冊

早稲田大学と相互利用協定を締結

早稲田大学とは1997年度から「国内留学」を実施している関係で、相互利用サービスのなかでも他大学以上に有利な条件のサービスを目指すことで合意し、2001年4月、本学総合情報センター（図書館）は、早稲田大学図書館と相互利用協定を締結しました。

早稲田大学との相互利用協定概要

○ 身分証で利用できる早稲田大学の図書館

専任教職員、大学院学生、学部生は、身分証（社員証、学生証）により、早稲田大学の中央図書館、高田早苗記念研究図書館（中央図書館経由で利用）、戸山図書館、理工学図書館、所沢図書館の各図書館の閲覧利用が可能です。これ以外の早稲田大学教員図書室および研究所図書室は、従来どおり紹介状が必要です。

同大から早稲田中央図書館の閲覧利用	21名
早大から同大今出川図書館の閲覧利用	19名

（2001年4月1日～2001年9月末）

○ コピーサービス（文献複写）

早稲田大学訪問時や本学図書館のレファレンス

カウンターを通しての文献複写依頼時には、早稲田大学の学内料金が適用されます。

○ 図書貸借

早稲田大学から図書を借用できます。本学図書館内で、一定期限内の閲覧利用が可能です。本学のレファレンスカウンターでお申し込みください。

○ その他

同志社大学総合情報センターホームページ／学外サーバへのリンクに早稲田大学図書館蔵書目録(WINE)をリンクしました。

(<http://wine.wul.waseda.ac.jp>)。

今出川図書館の施設を大幅に改善しました

今出川図書館の建物は、1973年に竣工しました。閲覧座席数1,175席、図書収容約65万冊を誇り、当時の図書館としては優れた機能性や快適性を兼ね備えた建物として、建築業協会賞を受賞するなど高い評価を受けました。

現在も試験期には1日7,000人を超える利用者があり、年間入館者数は約70万人にも上ります。

いま、図書館は、ネットワーク化や電子化など急激な変化の波にさらされ、図書館の建物も時代の波への適合が要求されています。図書館では、これまでマルチメディアライブラリ・PCコーナーの開設、玄関アプローチの改修、第3・4・5閲覧室および玄関受付の照明改善などを行ってきました。

今夏は、3階閉架書庫の電動書架設置と雑誌室・第2閲覧室の照明設備改善を行いました。

閉架書庫に電動書架設置

今出川図書館は、毎年約12,000冊の新刊資料を受け入れます。このままだと、数年で運用に支障をきたす状態が予測されました。そこで昨年度から2年計画で、閉架書庫の電動集密書架設置や書架改造を行い、約14万冊の収容冊数の拡大を図りました。これにより、今後十数年の資料の増加に対応できます。

電動書架の設置で資料の配架場所が変わりまし

た。電動書架を設置した3階南書庫には、製本雑誌のバックナンバーを集め、3階北・B1・B2の各階閉架書庫の固定書架には、主題別に分類された図書が並んでいます。入庫する際は、書庫入口の配置図で確認してください。

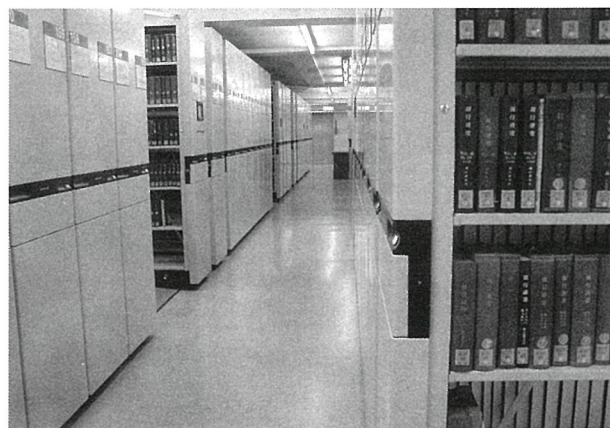
雑誌室と第2閲覧室の照明改善

今出川図書館は、閲覧室ごとに照度や色のコントラストをもたせて、利用者自ら適した環境を選択できるよう設計されました。

なかでも雑誌室と第2閲覧室は、烏丸通と今出川通に面しており、騒音と西日を遮る目的から窓を小さくし、またゆったりとした雰囲気の中で資料の閲覧ができるように、白熱灯を中心としたやわらかな照明としていました。しかし、現代の明るく開放的な図書館建築の傾向により、落ち着いた照明は、「古い」「暗い」図書館のイメージへと変わってしまいました。

このたび、開架閲覧室・参考図書室・第1閲覧室を標準的な照度とし、雑誌室と廊下および第2閲覧室（地階）の天井を張り替え、照明器具の交換を行い、照度を大幅にアップしました。両閲覧室は、昨年春に工事を行った第3・4閲覧室と同様の明るい利用環境に生まれ変わりました。

ゴールデンウィークやお盆休みなど工期が限定されますが、今後も継続して、閲覧環境の改善に取り組んでいきたいと考えています。



今出川図書館3階電動書架

EBSCOhostが利用できます

オンラインデータベースに新たにEBSCOhostが加わりました。これは、EBSCOhost社が提供する外国雑誌のデータベースサービスで、雑誌論文・記事を収録した雑誌全文・抄録データベースと各分野の定評あるデータベースを多数含んでいます。本学では、そのうちの次の2つが、ホームページ（同志社大学／総合情報センター／学術情報検索）からアクセスできます。

Sociological Collection：社会学関連領域を網羅する500誌以上の全文テキストデータベース

EBSCO Online Citations：主な出版社が作成した電子ジャーナル7,000誌以上の引用と抄録のデータベース

Web版DOORSで女子大学所蔵資料が検索できます

1998年から、同志社女子大学の図書館に学生証で入館できるようになり、両大学間での相互利用者はふえています。

この秋、同志社女子大学の所蔵データがWeb版DOORSに追加され、ますます便利になりました。これにより、図書が約805,500タイトル、逐次刊行物が約33,300タイトル（両大学重複分除く）が検索可能になりました。



No.	所蔵場所	配架場所	登録番号	書誌ID	請求記号
1	玄山山図	開架	891009324	10575952	099 021J
2	玄山山図	開架	9582017384	10575952	099 021J
3	玄山山図	開架	9582017422	10575952	099 021J
4	玄山山図	開架	9581033624	10575952	099 021J
5	玄山山図	開架	9581103208	10575952	099 021J
6	玄山山図	開架	9579013690	10575952	099 021J
7	玄山山図	開架	9579000720	10575952	099 021J

なお、女子大学所蔵図書の貸出や他大学との相互利用については、大学のレファレンスカウンターで相談してください。（女子大学のレファレンスカウンターでは受付していませんので、注意してください）。

「宝の山」閉架書庫を利用しましょう ～秋学期も20回の入庫説明会を開催

今出川図書館には、閉架書庫があります。

書庫内には、開架閲覧室の約4倍の資料が主題別に並んでいます。専門的な資料が多く、卒論・ゼミ発表等には大いに役立つものばかりです。

閉架書庫へは、書庫の見学や利用についてのガイダンスを行う入庫説明会に参加し、入庫証の交付を受けることで入庫ができます。実際に書庫に足を運んでみると、DOORSで検索した資料以外に、思ってもみなかった資料との出会いが数多くあることでしょう。書庫の各階には、閲覧机・目録検索用PCを配置し、3階南書庫には大型新聞の複写用にコピー機を設置していますので、ゆっくりと資料の閲覧ができます。また、入庫証があれば昼休みなど係員の出納が休止している時間帯にも閉架資料を利用できます（9時～閉館1時間前）。

同志社大学の学生であれば、どなたでも入庫説明会に参加できます。秋学期には20回開催しますので、都合のよい日時に参加してください。受付は両校地図書館メインカウンターで行っています。京田辺校地に通うみなさんも、ぜひ入庫証を手に入れ、今出川図書館閉架書庫を大いに活用してください。なお、入庫説明会の日時については、図書館のホームページ <http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/nyuuko.html>）や図書館内の掲示でお知らせしています。

〔以上、情報サービス課〕

学術情報ネットワークシステム利用および運用上のガイドラインが制定されました

このたび同志社大学は、本学のすべての構成員が自己責任にもとづき、ネットワークを安全かつ有効に活用するために、「同志社大学学術情報ネットワークシステム（DO-NET）の利用および運用上のガイドライン」を定めました。

このガイドラインは利用者の義務・管理者の義務等について指針を示したものです。

高度ネットワーク社会においては、情報の選択範囲の拡大・共有化が一気に地球規模に広がり、多くの人々がその利便性を享受していますが、一方で匿名性、開放性、簡便性などにより、多くの危険性もあわせ持っています。

ネットワーク利用上の行動規範・ルールは未確立の状態ともいえますが、ネットワーク上での行為は実社会と隔絶したものでもなく、また実社会の行動規範・ルールと全く別個のものでもありません。

DO-NETの利用にあたっては、このガイドラインの定めを遵守するとともに、その設置の目的が、学術研究および教育、事務利用であるということに常に意識し、建学の精神にもとづき「良心を手腕に」ネットワークを利用・運用されるようお願いいたします。

本ガイドラインは、総合情報センターのホームページに掲載しています（<http://www.doshisha.ac.jp/network/other/kitei/guideline.html>）。

Linux教室を開室しました

京田辺校地恵道館103・104番教室（KD103・104）、今出川校地寧静館21・22番教室（N21・22）のパソコンに、従来のOSであるWindowsNTに加え、デュアルブート方式でLinuxを導入しました。

上記の情報処理実習教室でパソコンの電源を入れると、OSの選択画面が表示され、WindowsNTまたはLinuxを選択する仕組みとなっています。

このLinux環境を利用するには、Linux用のユー

ザID、パスワードが必要となりますので、授業での利用を除き、両校地の情報システム課で利用申請の手続き（課題承認申請書の提出）が必要となります。

情報システム課では、Linux環境を初めて利用する方を対象にした簡単な手引きや、マニュアルを準備していますので、利用してください。

なお、Linuxの環境は次のとおりです。

<Linux環境>

ディストリビューション	Red Hat Linux Deluxe 7J
Kernel	2.2.16-22
Xマネージャー	XFree86 4.0.1
デスクトップ環境	GNOME 1.2.4

<主なアプリケーション>

プログラミング	gcc
	perl
	GNU Fortran
	C++
	Java
	CVS
	gdb
	awk
シェル	csh（デフォルト）
	bash
	tcsh
エディタ	vi
	emacs
通信	Telnet
日本語変換、日本語入力	Canna（デフォルト）
	FreeWnn（emacsのみ）
	kinput2
WEBブラウザ	Mozilla
TEX	platex

〔以上、情報システム課〕

お知らせ

今出川図書館から

電卓等の使用について

図書館内での電卓・パソコン等の使用は、これまで、2階奥の第5閲覧室に限って認めていました。しかし、近年、資格取得志望者が増加傾向にあり、第5閲覧室の利用が飽和状態にあります。

そこで、新たに第1閲覧室についても電卓・パソコン等の機器使用を認めることになりました。第1・第5閲覧室以外の閲覧室では従来通り使用できません。コンセント利用は第5閲覧室でお願いします。他の利用者の迷惑にならないよう心がけましょう。

日曜開館の利用について

あらたに、第3・第4・第5閲覧室、点字室、拡大読書室、対面読書室が利用できるようになりました。

情報システム課から

パソコン画面上のアイコンや文字の表示が大きくなります

デスクトップ上のアイコンや、タスクバーの文字が小さく見づらい方のために、それらの表示を大きくするソフトウェア（ITry）を情報処理実習教室、オープン利用室の全てのパソコンに導入しました。

なお、ITryの利用方法は次のとおりです。

画面上の文字やアイコンの表示サイズを拡大する場合は、デスクトップ上にある「ITry特大画面」アイコンをクリックしてください。

元の状態に戻すときは、「ITry元に戻す」アイコンをクリックしてください。

危険度の高いウィルスへの対策について

Windows環境下で動作するメール大量送信型ウィルスが昨今問題となっています。ウィルスの中には、感染するとウィルスを添付したメールを自動的に送信するものもあります。

ところが、こうしたウィルスの感染に気がつかないため、知らない間に自分のコンピュータがウィルスを撒き散らし、加害者となっていることすら気がつかないというケースが本学でも報告されています。

感染予防として、不審な添付ファイルは不用意に実行（ダブルクリック）しないだけでなく、被害を拡大しないためにも常に最新のウィルスのワクチンソフトの導入やウィルス定義ファイルの更新を行ってください。また、マイクロソフト社のInternet Explorer（IE）を使用している場合、最新のセキュリティパッチ（IE5.01 SP2あるいはIE5.5 SP2以上）の適用、またはIE6.0を利用してください。以下のURLから入手可能です。

http://www.microsoft.com/japan/technet/security/prekb.asp?sec_cd=MS01-020

なお下記のウィルス情報関連サイトには詳細情報が公開されています。

・IPAセキュリティーセンター

(<http://www.ipa.go.jp/security/>)

・トレンドマイクロ

(<http://inet.trendmicro.co.jp/virusinfo/index.asp>)

・シマンテックアンチウィルスリサーチセンター

(<http://www.symantec.co.jp/sarcj/index.html>)

・日本ネットワークアソシエイツ

(<http://www.nai.com/japan/virusinfo/vlibrary.asp>)

William James 旧蔵本（デューイ文庫）
Les lois de l'imitation : etude sociologique
 （『模倣の法則、社会学的研究』）
 / par G.Tarde
 【今出川 貴重 361.4 T9267】

当センターの特別コレクションの一つ、デューイ文庫をご存知でしょうか？

デューイ文庫は、アメリカの哲学者、教育学者であるJohn Dewey(1859-1952)による著作ならびにプラグマティズム研究関連資料を収集したものです。デューイ研究者であった吉川哲太郎名誉教授の寄贈図書と寄付金（デューイ文庫基金）により1970年に創設されました。

その後現在にいたるまで、デューイ文庫基金は、関連資料の収集に役立っています。例えば、プラグマティズムに関して書かれた博士論文については毎年調査し、海外も含めすべて購入しています。

今回はそのデューイ文庫の新しい資料の中から、一冊をご紹介します。



この本は、1895年にパリのFelix Alcanから出版された、Gabriel Tarde(1843-1904)『*Les lois de l'imitation: etude sociologique*（模倣の法則 社会学的研究）』の改訂・増補版です。

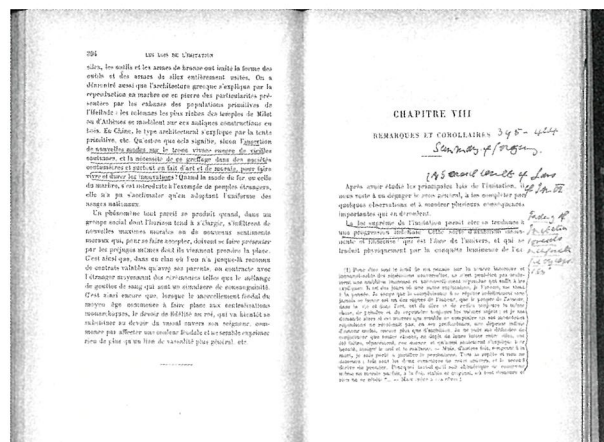
アメリカの哲学者、心理学者であり、プラグマティズムの創始者であるWilliam James(1842-1910)の旧蔵本であり、その書き入れがあることから貴重書に指定しています。

見返紙の献辞によると、この本はWilliam James から、イギリスの著名な法学者Albert Dicey (1835-1922) に贈呈され、その後その妻から、ロシア生まれのイギリスの法学者・歴史学者であるSir Paul Vinogradoff (1854-1925) に贈呈されたものです。

それが、今年の6月イギリスの古書店で発見され、当センターが購入することになりました。

実際にページを開けてみると、扉の見返しに始まって、本文中にも無数の書き込みや註釈があり、あちこちに下線が引かれているのがわかります。

いかに彼がこの本の影響を受けたかは、その著作や講義でも言及していることから明らかです。



「模倣。人間はいつでも、すぐれて模倣的な動物として認められてきました。（中略）しかるに不思議にも、人間における模倣衝動の全貌と重要性とが正しく認識せられるにいたったのは、やっとこの十余年前のことなのです。タルド氏がその驚嘆に値する独創的著述『模倣の法則』においてこの道を開拓したのでした。」（『心理学について：教師と学生に語る』ウィリアム・ジェイムズ〔著〕大坪重明訳【今出川閑架 133.95 J-7 1】）

この本の著者であるGabriel Tardeは、フランスの社会学者、犯罪学者であり、下級司法官として類似犯罪の審理にあたった経験から、〈模倣〉こそ社会の成立に重大な意義を持つものと考えこの本を著しました。この一冊の本が、国を越えて、アメリカの現代思想の核心を形成するプラグマティズムに大きな影響を与え、犯罪学の分野においても社会環境を重視する社会学派を開く礎となりました。

この本を手にとると、新たな思想が生成される現場に立ち会っているかのような感覚を覚えます。

デューイ文庫は現在約4,000冊を数え、教育分野の大変貴重な資料群を構成しています。

当センターでは一般資料に加えて、このような資料についても収集し、資料の一層の充実を図っていきたいと考えています。

雅楽—重要無形文化財— 全10巻 ビデオ

【両校地 マルチメディアライブラリ V768 S9288】

古来伝統の中に脈々と受け継がれてきた「雅楽」。神社の祭礼で耳にしたことがある、という方もいらっしゃるでしょう。また、様々なメディアで活躍中の雅楽師、東儀秀樹氏を思い浮かべられた方も多いのではないのでしょうか。

今回で紹介するのは、最近関心が高まっている「雅楽」の全ジャンルを網羅したビデオ『雅楽—重要無形文化財—』（宮内庁式部職楽部の協力により作成）です。

「雅楽」とは、本来は「雅正の楽＝正しい音楽」との意味を持ち、儒教の祭祀の楽を指していました。しかし日本では、①日本古来の祭式芸能＝国風歌舞、②中国・朝鮮より伝わった唐の時代の宮廷俗楽を始めとするユーラシア各地の芸能＝管弦・舞楽、そして③平安時代の王朝文化から生まれた声楽＝催馬楽・朗詠の総称となっています。

これらは大宝律令に規定された「雅楽寮」で扱われていましたが、中世には大内（京都）・南都・天王寺の各楽所に引継がれ、現在は宮内庁式部職楽部や民間の雅楽演奏団体により演奏されています。

それでは、各巻を先に挙げたジャンル別に見てみましょう。

① 国風歌舞…東遊（第1巻）・久米舞（第2巻）

東遊は古代東国の伝承・民俗に由来するものであり、久米舞は記紀歌謡に見える神武天皇の故事を伝える勇壮な演目です。どちらも公開されることはあまりなく、今回初めて映像化されました。

② 管弦・舞楽…越殿楽・延喜楽・抜頭・太平楽（第3巻～第5巻・第7巻）

管弦・越殿楽は雅楽の楽曲の中では最も広く知られているものです。管弦は舞を伴わない器楽合奏ですが、音による聴覚的な美だけでなく、演奏者の姿勢など視覚的な美しさも求められます。ぜひ演奏の際の姿に注目してみてください。

延喜楽・太平楽は共に舞楽です。延喜楽は朝鮮半島系の高麗楽を伴奏曲とする代表的な演目で、その曲名より「縁起」がよいとされ、慶祝の舞として奏されます。また、太平楽は中国系

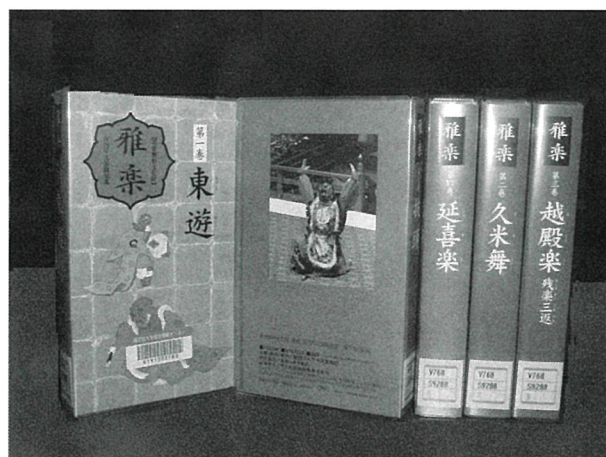
の唐楽を伴奏曲とする演目で、豪華絢爛な甲冑装束を纏った舞人が勇壮に舞います。

抜頭は、舞楽として唐楽を伴奏曲に躍動的に舞う様子と、管弦曲として演奏される様子を紹介しています。舞楽と管弦ではリズム等が違いますので、聞き比べてみてはいかがでしょうか。

③ 催馬楽より更衣・伊勢海（第8巻）と朗詠より嘉辰・紅葉（第9巻）

催馬楽は各地の民謡を雅楽風に編曲したもので、現在6曲が伝承されていますが、この中より2曲が紹介されています。

朗詠とは詩歌を声高こうたうこと、との意味もありますが、雅楽の一種目としての朗詠は、漢詩に節をつけ雅やかに朗誦する歌謡を指しており、現在伝承されている29曲の中より2曲を紹介しています。



上記以外に雅楽楽器や装束について解説した資料編があります。現在用いられている雅楽楽器については、その構造や奏法・練習法を紹介。また装束については各部の解説を交えながら、実際に着装していく様子を映像に収めています。その他にも舞楽で用いる面や小道具の解説もあり、雅楽が音楽や舞踊だけでなく、装束や面などを含めた総合芸術であることを理解いただけるのではないのでしょうか。

演奏の様子はもとより、資料編に収められている映像など、全てにおいてふだん細部まで見ることはできないものです。日本の伝統音楽に触れる恰好の資料であるといえますので、ぜひ一度ご覧ください。

総合情報センター利用時間（11～3月） 臨時の変更は掲示にてお知らせします

日曜・祝日は原則として閉館、閉室します。図書館については、開講期間のみ日曜開館しています。
11月29日は創立記念日、12月25日はキリスト降誕日のため、閉館、閉室します。
11月3日は祝日ですが、両校地図書館は開館します。なお利用時間は日曜開館に準じます。

●今出川校地

		図 書 館		情 報 シ ス テ ム 課	
		1・2階	第1・2閲覧室、マルチメディア・ライブラリー パソコン・コーナー、EU資料センター	計算機施設	窓 口
11/1～11/24	月～土	9：00～22：00	9：00～21：30	9：00～22：00	9：00～21：45
11/26～11/28	月～水	9：00～19：00	9：00～18：30	9：00～19：00	9：00～17：00
11/30～12/26	月～土	9：00～22：00	9：00～21：30	9：00～22：00	9：00～21：45
12/27	木	9：00～19：00	9：00～18：30	9：00～19：00	9：00～17：00
12/28～1/6		冬 期 一 斉 休 暇			
1/7～1/21	月～土	9：00～22：00	9：00～21：30	9：00～22：00	9：00～21：45
1/22～2/16	月～金	9：00～22：00	9：00～21：30	9：00～22：00	9：00～17：00
	土	9：00～22：00	9：00～21：30	9：00～22：00	9：00～12：00
2/18～3/25	月～金	9：00～19：00	9：00～18：30	9：00～22：00	9：00～17：00
	土	9：00～16：00	9：00～15：30	9：00～19：00	9：00～12：00
3/26	火	9：00～22：00	9：00～21：30	9：00～19：00	9：00～17：00
3/27～3/30	水～土	9：00～22：00	9：00～21：30	9：00～22：00	9：00～21：45

※今出川図書館の閉架書庫、講武館書庫の資料請求は閉館1時間前に締め切ります。

●京田辺校地

		ラーネッド記念図書館			情 報 シ ス テ ム 課	
		2・3階	1階読書室	書庫、パソコンコーナー マルチメディア・ライブラリー(1階)	計算機施設	窓 口
11/1～11/24	月～金	9：00～20：00	9：00～20：00	9：00～19：30	9：00～20：00	9：00～17：00
	土	9：00～16：00	9：00～17：00	9：00～15：30	9：00～17：00	9：00～12：00
11/26～11/28	月～水	9：00～17：00	閉 室	9：00～16：30	9：00～20：00	9：00～17：00
11/30～12/26	月～金	9：00～20：00	9：00～20：00	9：00～19：30	9：00～20：00	9：00～17：00
	土	9：00～16：00	9：00～17：00	9：00～15：30	9：00～17：00	9：00～12：00
12/27	木	9：00～17：00	閉 室	9：00～16：30	9：00～17：00	9：00～17：00
12/28～1/6		冬 期 一 斉 休 暇				
1/7～2/16	月～金	9：00～20：00	9：00～20：00	9：00～19：30	9：00～20：00	9：00～17：00
	土	9：00～16：00	9：00～17：00	9：00～15：30	9：00～17：00	9：00～12：00
2/18～3/9	月～金	9：00～17：00	閉 室	9：00～16：30	9：00～17：00	9：00～17：00
	土	9：00～12：00	閉 室	9：00～11：30	9：00～17：00	9：00～12：00
3/11～3/16	月～金	閉室（蔵書点検）	9：00～17：00	閉室（蔵書点検）	9：00～17：00	9：00～17：00
	土	閉室（蔵書点検）	9：00～12：00	閉室（蔵書点検）	9：00～17：00	9：00～12：00
3/18～3/25	月～金	9：00～17：00	閉 室	9：00～16：30	9：00～17：00	9：00～17：00
	土	9：00～12：00	閉 室	9：00～11：30	9：00～17：00	9：00～12：00
3/26	火	9：00～20：00	9：00～20：00	9：00～19：30	9：00～17：00	9：00～17：00
3/27～3/30	水～金	9：00～20：00	9：00～20：00	9：00～19：30	9：00～20：00	9：00～17：00
	土	9：00～16：00	9：00～17：00	9：00～15：30	9：00～17：00	9：00～12：00

※ラーネッド記念図書館の書庫は閉館30分前に閉室します。

★日曜開館のお知らせ (今出川図書館・ラーネッド記念図書館)

右表のとおり、開館します。
開架資料の閲覧・コピーに限ります。
なお、3月の日曜開館はありません。

月	日	開室（利用時間 10：00～17：00）
11	4, 11, 18	(今出川) 開架閲覧室、第3,4,5閲覧室
12	2, 9, 16, 23	点字室、拡大読書室、対面読書室 雑誌室、参考図書室
1	13, 20, 27	EU資料センターのみ10：00～16：30 (ラーネッド)
2	3, 10	開架閲覧室、参考図書・雑誌室、点字室 対面朗読室